

# 東京のまちづくり

特集1 東京舟旅

特集2 都立公園ガイドアプリ「Tokyo Parks navi」で動物園・庭園を楽しもう!



東京舟旅

# 東京舟旅

SUITOWN TOKYO

東京都では、川や海、運河など、東京の水辺空間の魅力を引き出すため、舟運を活性化し、身近な観光・交通手段として定着することを目指して様々な取組を実施しています。

## 1 運航や船着場などの情報をまとめて発信!

舟運をより便利に利用していただくため、運航ダイヤや運賃、船着場の位置、船を利用した移動経路などの東京の舟運情報がスマートフォン等で気軽に入手できるよう、一元的に発信しています。

これらの情報については、以下のHPよりご覧になれます。  
「東京舟旅」：<http://www.suitown.jp/navi/>



## 2 PR動画とパンフレットを作成!

舟運をより多くの方々に知っていただくため、PR動画「東京舟旅」と旅行誌「るるぶ」とタイアップしたパンフレット(無料)を作成しました。  
なお、本冊子は、東京観光情報センターなどで入手できるほか「東京舟旅」HPにも掲載しています。



るるぶ特別編集版パンフレット「東京舟旅」ダウンロードはこちら!



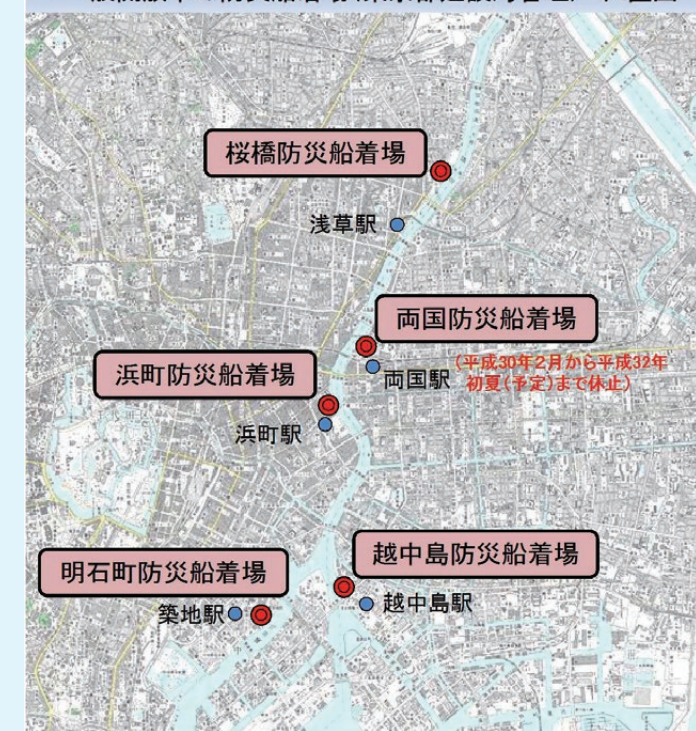
【動画イメージ】



【パンフレット「東京舟旅」】

## 関連情報: 隅田川の防災船着場を一般開放中!

一般開放中の防災船着場(東京都建設局管理)位置図



東京都建設局では、隅田川沿いの越中島、明石町、桜橋、両国、浜町の5か所の防災船着場を一般の船舶に開放し、舟運が活発となるよう環境整備を進めています。

(詳細はこちら <http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/jigyo/river/kanri/bousaifunatsukiba/index.html>)

防災船着場についての 東京都建設局河川部指導調整課 問い合わせ先 TEL 03-5320-5405



## ゲンジボタルの新生活

多摩動物公園 昆虫園飼育展示係 渡辺良平

4月は新学年や新生活など、多くの人にとって始まりの季節です。自然界でも植物が芽吹き、多くの生き物が活動を始めます。初夏の風物詩ゲンジボタルもこの時期、新生活を始めています。

光りながら宙を舞う成虫が有名ですが、成虫の寿命は1、2週間程度と非常に短く、一生の大半は幼虫で過ごしています。幼虫のすみかは川の中。川底で夏から翌年の春までのあいだ、カワニナなどの巻貝を食べながら、脱皮を繰り返して成長していきます。そして長らく過ごした水中での生活から一変、成虫になるため上陸し、地中で繭をつくってサナギとなるのが、ちょうど4月から5月のあいだなのです。

幼虫たちは雨が降る夜をねらって次々と上陸をしますが、本来黒くて目立たない姿の幼虫も、上陸が間近になると腹部の一部を光らせるようになり、夜でも簡単に観察ができます。目立ってしまっただけで危険なように感じますが、実は体に毒をもっているため、周囲への警告をしていると考えられています。

幼虫の中には上手に獲物を捕まえられず、成長が遅れて上陸に合わないものもいます。そんなとき、ゲンジボタルには上陸を諦めて、ひきつづき水中ですごして翌春を待つ、モラトリアムのような性質があります。場合によってはさらに延長し、3年間幼虫で過ごすものもいます。無理せず焦らずチャンスを待つことのできる仕組みに感心するとともに、ゆとりの持てる生き方がうらやましく感じます。

## 動物園の“かお” 上野動物園 スマトラトラ



平成30年(2018年)12月にみさき公園(大阪府)から上野動物園にやって来たスマトラトラの「ブラン」(オス)です。ぜひ会いに来てください。



詳細は「東京舟旅」ホームページ URL: <https://www.suitown.jp/>